



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日

上場会社名 シップヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 3360 URL <https://www.shiphd.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大橋 太
問合せ先責任者(役職名) 専務取締役 (氏名) 横山 裕司 (TEL) 06-6369-0130
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	453,057	11.3	15,130	13.2	15,788	22.9	7,224	△3.0
2023年3月期第3四半期	407,120	12.1	13,370	8.2	12,849	3.8	7,450	6.7

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 8,820百万円(△4.8%) 2023年3月期第3四半期 9,262百万円(63.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第3四半期	円 銭 76.57	円 銭 —
2023年3月期第3四半期	78.96	71.57

(注) 1 前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年3月期第3四半期の連結経営成績については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2 2024年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第3四半期	百万円 370,280	百万円 135,947	% 35.9
2023年3月期	381,977	131,115	33.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 132,865百万円 2023年3月期 128,037百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 42.00	円 銭 42.00
2024年3月期	—	0.00	—		
2024年3月期(予想)				48.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当 43円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	600,000	4.8	23,500	11.1	23,500	14.0	12,500	3.6	132.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	101,669,400株	2023年3月期	101,669,400株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	7,319,175株	2023年3月期	7,319,175株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	94,350,225株	2023年3月期3Q	94,350,266株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限が緩和され、経済活動の正常化が進む一方で、不安定な海外情勢や円安に伴うエネルギー価格や原材料価格の高騰、世界的な金融引締めや中国経済の先行き懸念等、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの属する医療業界では、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが変更されたことに伴い、医療機関への病床確保料の見直しや診療報酬上の特例の見直し等が実施されました。また、各都道府県では、第8次医療計画に向けた指針として、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により浮き彫りとなった地域医療の様々な課題への対応や人口構造の変化への対応が求められています。

このような状況の下、当社グループにおきましては、全報告セグメントにおいて前年同四半期連結累計期間比で増収増益となり、業績は堅調に推移いたしました。一方、ミャンマー連邦共和国内の当社連結子会社2社においては、これまでの間、軍事クーデターに端を発する欧米の金融制裁や外貨の強制兌換等の影響を受けておりましたが、今般、更なる金融制裁強化により、外貨建ての回収や仕入れが困難な事態が進展しつつあり、今後もこのような状況が継続する情勢であることから、当初想定していた超過収益力が見込めなくなったと判断し、のれんの全額相当である2,635百万円を特別損失として第2四半期連結累計期間に減損処理いたしました。また、当期は中期経営計画「SHIP VISION 2024」の2期目にあたり、当初掲げた4つの重点施策「コア事業の更なる高成長」「積極的なバリューの拡大」「機能強化戦略」「サステナビリティに対する取組み」について、引き続き推進してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は453,057百万円（前年同四半期連結累計期間比11.3%増）、営業利益は15,130百万円（前年同四半期連結累計期間比13.2%増）、経常利益は15,788百万円（前年同四半期連結累計期間比22.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7,224百万円（前年同四半期連結累計期間比3.0%減）となりました。なお、前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前四半期連結累計期間との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定の内容を反映した金額を用いております。

セグメントごとの業績を示しますと次のとおりであります。

① トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、当期はプロジェクト案件が第4四半期に偏重傾向であるものの、当第3四半期連結累計期間までは計画通りに推移いたしました。メーカー系における電装部品の長納期化の影響は、引き続き継続しているものの、前期に比べると緩和されました。また、重粒子線がん治療施設においては、2022年4月から保険適用対象部位が拡大したことにより新規外来受診者数及び治療件数が増加いたしました。さらに、2022年7月にグループ入りしたキングラングループの業績が、当期は第1四半期連結累計期間より寄与いたしました。

この結果、売上高は84,574百万円（前年同四半期連結累計期間比8.6%増）、セグメント利益（営業利益）は5,738百万円（前年同四半期連結累計期間比18.2%増）となりました。

② メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、前年下期に受託した新規SPD受託施設の稼働が堅調に推移いたしました。また、原材料価格や人件費高騰の影響を受けた一方で、手術症例数が増加したこと等により診療材料需要が回復いたしました。

この結果、売上高は316,849百万円（前年同四半期連結累計期間比12.3%増）、セグメント利益（営業利益）は4,609百万円（前年同四半期連結累計期間比5.4%増）となりました。

③ ライフケア事業

介護サービスにおきましては、光熱費高騰の影響を軽減すべく光熱費の管理徹底に努めました。また、当初に管理費の見直しを実施いたしました後も、引き続き高い入居率を維持いたしました。さらに、食事提供サービスでは前期にグループ入りした企業の業績が寄与したこと等により食材価格の高騰を乗り越えて増収増益となりました。

この結果、売上高は27,233百万円（前年同四半期連結累計期間比11.9%増）、セグメント利益（営業利益）は2,060百万円（前年同四半期連結累計期間比20.5%増）となりました。

④調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、新規出店及び小規模なM&A等により、業績は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は24,401百万円（前年同四半期連結累計期間比7.6%増）、セグメント利益（営業利益）は2,670百万円（前年同四半期連結累計期間比15.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は370,280百万円となり、前連結会計年度末と比べて11,697百万円減少いたしました。その主な要因は、「商品及び製品」が4,572百万円、「投資有価証券」が2,363百万円、「電子記録債権」が2,276百万円増加した一方、「受取手形、売掛金及び契約資産」が17,988百万円、「のれん」が3,655百万円減少したこと等によるものであります。

負債は234,332百万円となり、前連結会計年度末と比べて16,530百万円減少いたしました。その主な要因は、「短期借入金」が14,847百万円増加した一方、「1年内償還予定の新株予約権付社債」が25,016百万円、「支払手形及び買掛金」が7,819百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は135,947百万円となり、前連結会計年度末と比べて4,832百万円増加いたしました。その主な要因は、配当金の支払により「利益剰余金」が3,962百万円減少した一方、「親会社株主に帰属する四半期純利益」により「利益剰余金」が7,224百万円、「その他有価証券評価差額金」が1,293百万円増加したこと等によるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は35.9%（前連結会計年度末比2.4ポイント増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年11月10日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	80,839	81,278
受取手形、売掛金及び契約資産	131,539	113,551
電子記録債権	5,374	7,651
リース投資資産	3,102	3,002
商品及び製品	21,389	25,962
仕掛品	3,776	5,197
原材料及び貯蔵品	1,504	2,097
その他	10,817	12,239
貸倒引当金	△1,101	△1,245
流動資産合計	257,241	249,736
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,446	23,090
土地	18,209	18,045
賃貸不動産（純額）	10,951	10,951
その他（純額）	12,521	11,610
有形固定資産合計	65,127	63,698
無形固定資産		
のれん	12,320	8,665
その他	3,828	3,512
無形固定資産合計	16,149	12,177
投資その他の資産		
投資有価証券	25,424	27,788
長期貸付金	7,117	6,888
その他	12,605	11,698
貸倒引当金	△1,689	△1,707
投資その他の資産合計	43,458	44,668
固定資産合計	124,735	120,543
資産合計	381,977	370,280

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	109,883	102,063
電子記録債務	28,622	35,370
短期借入金	1,815	16,662
未払法人税等	5,332	1,998
賞与引当金	2,908	1,324
1年内償還予定の新株予約権付社債	25,016	-
その他	23,441	25,441
流動負債合計	197,020	182,861
固定負債		
長期借入金	41,571	38,543
退職給付に係る負債	3,383	3,465
資産除去債務	1,156	1,167
その他	7,730	8,294
固定負債合計	53,842	51,471
負債合計	250,862	234,332
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,553	15,553
資本剰余金	23,533	23,447
利益剰余金	100,158	103,420
自己株式	△15,526	△15,526
株主資本合計	123,718	126,894
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,978	4,271
繰延ヘッジ損益	1	2
為替換算調整勘定	1,305	1,657
退職給付に係る調整累計額	32	39
その他の包括利益累計額合計	4,319	5,971
非支配株主持分	3,077	3,082
純資産合計	131,115	135,947
負債純資産合計	381,977	370,280

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	407,120	453,057
売上原価	365,107	407,486
売上総利益	42,012	45,571
販売費及び一般管理費	28,642	30,441
営業利益	13,370	15,130
営業外収益		
受取利息	237	247
受取配当金	169	206
持分法による投資利益	-	631
その他	361	395
営業外収益合計	768	1,481
営業外費用		
支払利息	306	331
持分法による投資損失	7	-
為替差損	929	349
その他	46	142
営業外費用合計	1,289	823
経常利益	12,849	15,788
特別利益		
固定資産売却益	17	43
負ののれん発生益	-	3
補助金収入	45	-
その他	5	6
特別利益合計	69	53
特別損失		
減損損失	-	2,635
固定資産除却損	25	16
関係会社株式売却損	-	129
その他	5	2
特別損失合計	31	2,784
税金等調整前四半期純利益	12,887	13,057
法人税、住民税及び事業税	4,758	4,886
法人税等調整額	1,060	1,055
法人税等合計	5,819	5,941
四半期純利益	7,068	7,115
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△381	△108
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,450	7,224

四半期連結包括利益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	7,068	7,115
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,751	1,293
為替換算調整勘定	433	418
退職給付に係る調整額	△5	3
持分法適用会社に対する持分相当額	14	△9
その他の包括利益合計	2,194	1,705
四半期包括利益	9,262	8,820
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,687	8,876
非支配株主に係る四半期包括利益	△424	△55

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	トータルパック プロデュース 事業	メディカル サブライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	77,904	282,204	24,331	22,680	407,120	—	407,120
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,141	1,215	66	80	3,504	△3,504	—
計	80,046	283,419	24,398	22,760	410,624	△3,504	407,120
セグメント利益	4,853	4,372	1,709	2,322	13,257	113	13,370

(注)1 セグメント利益の調整額113百万円には、セグメント間取引消去△73百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等191百万円等が含まれております。全社費用等は、主に親会社本社の子会社からの運営費用収入、営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費の純額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、暫定的な会計処理の確定の内容を反映した金額を用いております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、キングラン(株)株式を取得し、同社及び同社の子会社11社を連結の範囲に加えております。

当該事象により「トータルパックプロデュース事業」セグメントにおいて、前連結会計年度の末日に比べ資産が27,123百万円増加しております。

なお、資産の金額は企業結合に係る暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、キングラン(株)株式を取得し、同社及び同社の子会社11社を連結の範囲に加えております。

当該事象による「トータルパックプロデュース事業」セグメントにおけるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては5,147百万円であります。

なお、のれんの金額は企業結合に係る暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	トータルパック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	84,574	316,849	27,233	24,401	453,057	—	453,057
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,131	903	42	77	3,154	△3,154	—
計	86,706	317,752	27,275	24,478	456,212	△3,154	453,057
セグメント利益	5,738	4,609	2,060	2,670	15,078	51	15,130

(注) 1 セグメント利益の調整額51百万円には、セグメント間取引消去△86百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等136百万円等が含まれております。全社費用等は、主に親会社本社の子会社からの運営費用収入、営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費の純額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

トータルパックプロデュース事業におけるマンマー事業において、当初の事業計画に対する進捗状況及び今後の業績の見通しを考慮した結果、当初想定していた超過収益力が見込めなくなったと判断し、のれんについて減損損失を計上しております。

当該事象によるのれんの減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において2,635百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

上記(固定資産に係る重要な減損損失)で記載したとおり、トータルパックプロデュース事業において、のれんを減損しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。